

秋田大学男女共同参画推進室

Newsletter vol.38 2021.3

体験教室「北秋田市の大地を作った日本史上最大の噴火」を実施しました



令和2年10月23日(金)に、北秋田市立合川中学校において、体験教室「北秋田市の大地を作った日本史上最大の噴火」を実施しました。

今回の体験教室は、本学大学院教育学研究科教職実践専攻の林信太郎教授を講師に、十和田火山を主なテーマにして行われ、講義の他に、お菓子と炭酸飲料を使って火山噴火の仕組みを再現する実験や、入浴剤を使って火砕流・火山灰の再現をする実験など、身近な物を使った火山に関する実験も行われました。



生徒は自分が住む土地に影響をもたらした、平安時代の火山噴火の話や、目の前で展開される実験に興味深い様子で、最後の質問コーナーまで盛り上がったまま閉会しました。

終了後のアンケートでは、「林先生の話聞いて、普段あまり疑問に思わない事にも関心を持つようになりました！今後の職業について、じっくり考えていきたいと思います。」「身の回りの食べ物で、あんなリアルな火山を表せるのがすごいと思いました。」といった感想が寄せられました。

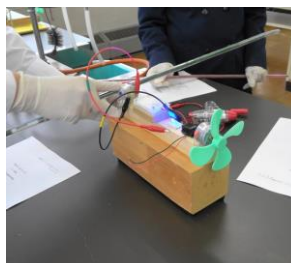
出前講座「科学技術と人間」を実施しました

令和2年12月14日(月)に、大仙市立大曲西中学校において、出前講座「科学技術と人間」を実施しました。

今回の出前講座は、わくわく科学工房代表の石橋研一先生を講師に、「エネルギーの移り変わり」を主なテーマにし、生徒が実験・体験をした他、様々な実験装置を使った演示実験や講義が行われました。生徒は次々に演示される実験に興味深い様子で、石橋先生の話に耳を傾けていました。

また、後半はコマの回転を科学的に解説した後、それぞれが「宇宙ゴマ」を作成し、その回転を観察しました。

終了後のアンケートでは、「私はこの講座を受けるまで、理系はあまり得意ではありませんでしたが、受けてからは、おもしろくて理系も楽しそうだなと思いました。」「今回の取り組みを通して新たに発見した事もあり進路選択の参考になった。」といった感想が寄せられました。



体験教室「PCR検査を学ぼう～秋田北高篇～」を実施しました

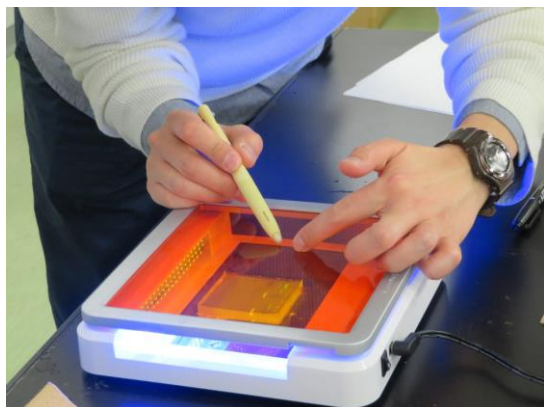


令和2年12月23日(水)と24日(木)の両日、秋田大学において、10月に実施した体験教室「PCR検査を学ぼう」の縮小版で秋田北高校数理探究クラスを対象とした体験教室「PCR検査を学ぼう～秋田北高篇～」を実施しました。

本学大学院理工学研究科の尾高雅文教授による、PCR法の概要等についての講義に続き、疋田正喜教授から実験器具の使い方が説明され、実験が進められました。

今回も理解を深めるため、個別実験とし、マイクロピペットも一人に一台用意されました。教員や学生に指導してもらいながら、初めは慣れないマイクロピペットの操作も慣れてくると、楽しそうな様子も見られました。また、高校では取り扱うことのないアガロースゲル電気泳動では、DNAが移動した様子を興味深くのぞき込んでいました。

終了後のアンケートでは、「実験が楽しかった。秋大の生命科学科に入りたいという思いが強くなった。」「まだ進路について具体的なイメージがなくて決められていなかったけど、こんな分野もあるんだ！！」と思わず前向きになれました。」といった感想が寄せられました。



出前講座「魚の解剖を体験しよう！ －体のつくりの基本理解を目指して－」を実施しました

令和3年2月18日(木)に、秋田大学教育文化学部附属中学校において、出前講座「魚の解剖を体験しよう！－体のつくりの基本理解を目指して－」を実施しました。

今回の出前講座は、本学教育文化学部の石井照久教授を講師に、煮干しを使った魚の解剖体験を中心に、2つの理科室をカメラで中継して行われました。

まず、ハタハタの解剖写真を使って魚の体のつくりや、人体との共通点などについての講義が行われた後、マアジとカタクチイワシの煮干しを実際に解剖しました。

参加者は、目標としていた臓器を取り出したり、魚の体の中を観察したりと、終始興味深い様子で、終了時刻間際まで作業に集中する姿も見られました。

終了後のアンケートでは、「今回の授業で、あらためて自分は生き物の体のつくりや機能に興味があるということを感じ、より一層将来夢を叶えたいという意志が強くなった。」「教科書などを読むだけでなく、実際にふれることでつくりを理解できました。また、思っていたより人間と同じ器官があっただろうと思いました。」といった感想が寄せられました。

